



「南三陸から茅ヶ崎へ～笑顔の夏再会-Vol.3」 活動報告書

2014年8月2日～3日

昨年の再会から1年、たくさんの感謝と喜びの声に後押しされて、今年もまた「南三陸から茅ヶ崎へ～笑顔の夏再会-Vol.3」を開催いたしました。関係諸団体のご後援、商工事業所の店頭等への募金箱の設置のご協力、Slow Charity 様始め多くの市民の皆様のご寄付の他、本年はちがさき元気基金の大きな支援・茅ヶ崎市との共催により柳島キャンプ場の無償貸切と、昨年にも増して強力なバックアップを頂きました。



南三陸町の皆さんの移動中の体調管理や休憩場所・時間の調整等々のためにお迎え隊2名が現地入りしたのが8月1日の早朝です。交通費の節減とマッサージを行うために31日夜に夜行バスを使用しての移動でした。翌2日、宮城県登米市の新栄観光バスの貸切バスに5:00にお迎え隊が乗り込み、各仮設住宅の集合場所等計6カ所を回り一路茅ヶ崎へ出発しました。

ました。

途中、首都高速道路上の車窓からではありましたが東京スカイツリー、フジテレビ社屋、レインボーブリッジ、羽田空港、ベイブリッジなどの眺めを楽しんで頂きながら特に渋滞も無く、予定よりも15分ほど早く柳島キャンプ場へ無事に到着しました。横断幕とのぼり旗を用意して出迎えのなか、初めてのご参加の方々も再会を喜ぶ方もみなさん笑顔で安心しました。

ひとまずは宿泊棟で体をのばしてリフレッシュして頂いて、イベントをスタートしました。会場ではこの活動に賛同して下さった飲食店、有志のお料理や飲み物の数々、TAJによるBBQ、焼きそばなどをご用意、南三陸町神割崎仮設よりお越しの佐々木優太、卓也さん兄弟より乾杯のご挨拶を頂いて、存分に召し上がって頂きながらイベントが始まりました。





最初は Ka'ohana hula o ka malulani Hula Club のみなさんのフラダンスです。会場はもう南国気分につつまれます。優雅で華やかなフラを堪能したあとは流しそうめんの時間です。前日に加工した真新しい竹を使って、見た目も涼やか、時折流れてくるプチトマトに歓声を上げながらおいしくいただきました。続いては昨年もご支援頂いた

フラダンスチームのハーラウ メハナカプウヴェイのみなさんです。今年はちいさなお嬢さんたちのフラも登場、あまりのかわいらしさにすっかり癒されました。r*enge さんは歌詞カードを配り一緒に歌い楽しい雰囲気がやさしい歌声とともに会場を包みます。最後は南三陸町の三浦貴裕さんと茅ヶ崎ユースたちのダンスで締めました。この間も



足湯、宿泊棟ではマッサージによりお疲れの方々を揉みほぐしておりました。

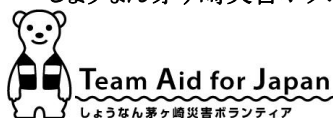
17:30 になり花火大会会場へ移動し花火大会がスタートしました。今回は第40回目の開催とのことで一段と華やかに感じました。

翌3日、早朝より海岸の散策等を楽しみロコモ体操にて体をほぐします。朝食は南駅前商店会

よりご提供のおにぎり、TAJ によるとん汁、フルーツなどを召し上がって頂きました。

南三陸町の方々、スタッフ全員で記念撮影したらお別れです。名残を惜しむようにバスへスタッフ2名とともに乗り込んだ皆さんとの、再会を信じてバスを見送りました。帰路は往路と違い東名の海老名SA に立ち寄って少しでも観光気分を感じてもらえるようにしました。夕刻、無事に南三陸町へ到着後、皆さんを各仮設住宅へお送りしました。翌4日にお





送り隊の2名が無事に茅ヶ崎へ帰還し本企画は終了しました。

南三陸町の皆さんをお迎えしてお話をうかがってまだまだ復興には時間がかかること・風化が進んでいることなど改めて実感させられました。これからも様々な支援・交流が必要と感じました。

翌週の10日に本企画の参加者による意見交換会を実施しました。昨年よりもスムーズに進んだと思われましたが、まだまだ改善点が見つかりました。次回以降に生かしてまいります。



最後になりましたが茅ヶ崎市をはじめ関係諸団体、募金にご協力くださった皆様、会場にて支援くださった皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

収支外民間協賛(50音順・敬称略)

青木酒店	日本酒 2本
伊藤園	お茶 4ケース
川本様	パウンドケーキ 100人前
Corner Shop	ローストポーク 100人前
サッポロ飲料	お茶 3ケース
サッポロビール	缶ビール 2ケース
八剣伝	やきとり 100本
プロテック湘南	商品券 ¥15,000相当 および軽トラック貸与
南駅前商店会	おにぎり 90食 運転手さんお弁当 2食
凜	しらすクラッカー ポテトサラダ さばご飯 各100人前

